

杉山吉弘教授退職記念号によせて

札幌学院大学人文学部長

岡 崎 清

2015年3月末日をもって、長年にわたり人文学部はもとより本学の研究・教育そして大学運営にご尽力くださいました杉山吉弘教授が定年を迎えられ本学をご退職されました。ご退職に際し、杉山吉弘教授には長年のご功績を称え、札幌学院大学名誉教授の称号が授与されました。

杉山吉弘先生は1970年北海道大学文学部をご卒業され、引き続き同大学院文学研究科にて修士課程修了（文学修士）、1976年3月博士課程単位取得満期退学を経て翌年1977年4月本学の前身である札幌商科大学人文学部専任講師として着任されました。先生は人文学部開設時の教員として人間科学科の専門科目ならびに教養科目の仏語を担当され、ご退職まで変わることなく教壇に立たれ多くの人材を社会に輩出されました。この間、1978年4月助教授に昇格、1986年10月教授に昇格されました。1995年4月には教務部長に就かれ、3年間全学の教学運営に携わり、当時の杉本正学長の補佐役として本学を牽引してくださいました。さらに1999年からは人文学部長として2期4年にわたり学部運営にご尽力くださいました。私事になりますが、私は英語英米文学科長として杉山学部長のもとで学部運営に加えさせていただき、先生からは多くの叱咤、激励、ご教示をいただきました。

先生は学生の就職にも気を配り、OBを本学にお呼びして就職支援をお願いするなど、その後本学が取り組む学生の就職支援を先取りしておられました。また、先生の専門ゼミでは本学第1号となる旧司法試験合格者を輩出されました。このことは先生の日頃の教育が深い思考と社会正義を根底にして積み上げられてきたものと拝察いたします。照れ屋の先生は「教育」という言葉を口にされるのを憚るようなお方でしたが、ゼミナールからは先生の薫陶を受けて多くの学生が巣立ち、今も社会の各方面で活躍しておられます。

先生は2005年5月に本学常務理事の要職に就かれ、一期3年の任期中に人文学部こども発達学科創設に取り組み、また商学部の改組にも英断を下されました。

先生のご研究に目を転じますと、「人間諸科学の哲学と倫理」のテーマの下で、とりわけ現代フランス哲学をご専門とされました。カンギレム、アルチュセール、フーコーなどにおける人間諸科学の哲学を探求されました。また、法政大学出版局、白水社、社会思想社等から専門書を数多く翻訳され、我が国の哲学会にも多大の貢献をされました。

杉山吉弘先生の長年にわたる本学へのご貢献に対し、人文学部はここに退職記念号を編み、先生への感謝の印といたします。